

市政記者クラブ各位

3D都市モデルで将来の中央通りを一足先に公開

国では、最新のデジタル技術を活用し、まちづくりの従来の仕組みを変革していく「まちづくりのDX（デジタルトランスフォーメーション）※1」に取り組んでいます。その一環であるスマートシティ※2化を図る取組として、3D都市モデル※3の整備により、都市計画や防災などの様々な分野への活用・オープンデータ化を目指す「Project PLATEAU（プラトー）※4」を推進しています。

本市では、令和4年度に市内全域で3D都市モデルの整備を行うとともに、モデル上で用途地域等の都市計画や津波・高潮による浸水想定区域等の災害リスクに関する情報を市ホームページで公開しています。

この度、中央通り再編後の姿を新たに加え、本日より市ホームページでご覧いただけるようになりましたので、ご案内します。



【3D都市モデル上での中央通りの将来像】

(市民公園前)



(バスタ四日市周辺)



なお、3D都市モデルについては、国の専用サイトからダウンロードが可能となっておりますので、ぜひご活用ください。



<お問い合わせ先>

都市整備部 都市計画課 橋本、北澤

電話：059-354-8272

FAX：059-354-8404

メール：toshikeikaku@city.yokkaichi.mie.jp

【ホームページ公開イメージ】



【用語解説】

※1 まちづくりの DX (デジタルトランスフォーメーション)

少子高齢化、新型コロナウイルスの危機、災害の激甚化等、都市を巡る課題が複雑化・深刻化している中、インターネットや IoT、AI 等を活用することで、まちづくりに関する従来の仕組みを変革していくことで、豊かな生活、多様な暮らし方・働き方を支える「人間中心のまちづくり」の実現を目指すもの。

※2 スマートシティ

都市の抱える諸課題に対して、情報通信技術等の新技術を活用しつつ、マネジメント(計画、整備、管理・運営等)が行われ、全体最適化が図られる持続可能な都市または地区。

※3 3D 都市モデル

従前からの二次元(平面)の地形図に、航空測量で取得した建物、地形の情報(高さ・形状など)を組み合わせ、三次元(立体)の地図を作成し、建物の名称、用途、建築年などの属性情報に加え、都市空間そのものをデジタル上で再現したもの。

※4 Project PLATEAU (プラトー)

Project PLATEAU とは 2020 年 12 月に発足した国土交通省のプロジェクトであり、都市空間そのものを 3D で再現する 3D 都市モデルの整備・活用を進めることで、まちづくりの DX (デジタル・トランスフォーメーション)を進めるもの。

(令和 6 年 3 月末時点で、196 都市がプロジェクトに参画)